

すぴか書房 ☆ 書籍目録

Original Publisher , since 2004

Catalogue No.4

2018.6

最新刊

回想アクティビティ ハンドブック

[著] バーニー・アリゴ¹ 梅本 充子² 中島 朱美³

A5判 2色刷 296頁 3,300円 (本体価格)

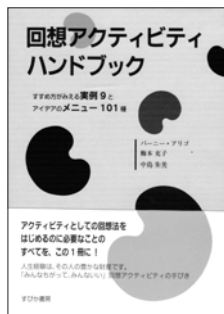
“アクティビティとしての回想法”をはじめるのに必要なことのすべてを、この1冊に！

AgeExchange (ロンドンの回想法センター)の元理事で回想法の指導者歴30年超のバーニー・アリゴが蓄積したノウハウのすべてを記した原案を、共著者が高齢者施設や保健福祉現場の読者のために編集、また日本の実情に合わせて手を加え、待望の教科書・実践の手引きが完成した。アクティビティの実例9のほか、アイデアとヒントのメニュー101種掲載。

[主要目次]

1. 回想アクティビティ入門 1章 アクティビティとしての回想法 1. 回想とは「詳しく思い出す」こと 2. 追憶や回顧との違い 3. 回想の価値 4. 回想アクティビティ 5. 精神療法的アプローチとの違い 6. 回想アクティビティの参加者 7. 回想アクティビティから得られるもの 8. 創造性の発揮へ 9. オーラル・ヒストリー 2章 回想プロジェクト アクティビティの計画、実施、評価 1. 企画立案 2. プロジェクトの概要 3. 回想グループへの招待 4. アクティビティの実施計画 実例【1】～【7】 5. 単発で行なうセッション 6. 計画に縛られない柔軟な対応 7. 一連のセッションを終えた後で 8. 評価 第3章 回想ワーカーの役割と心得 1. パーソン・センタード・ケア 2. よいコミュニケーション 3. 心からの興味 4. 選択の尊重 5. 忠実性と秘密保持 6. 信頼関係の確立 7. 辛い感情を伴う思い出に対して 8. 決めつけない 9. 暖かさやユーモア 10. 回想を促すはたらきかけ 11. テーマの選択と絞り込み 12. 想像力と創造力 13. コ・ワーカー 14. ミーティング 15. 記録の工夫 ... 実例【8】...18. 編

集 4章 アクティビティの展開 セッションの開始から終了まで 1. 回想グループに「理想の姿」はありません 2. 第1回のセッション 3. 第2回以降のセッション 4. 話し合い 5. 回想の引き出し方 6. 思い出を分かち合うために 7. メインテーマの決定 8. テーマの展開を促す方法 9. セッションの終わり方 5章 回想トリガー 1. 音 2. 匂い、香り、味 3. オブジェ 4. 映像 (写真、動画) 5. 言葉 6. 本と読書 7. 新聞 8. 外へ出かけましょう 9. 回想コレクション 6章 認知症ケアに活かす 1. 認知症を患うとはどういうことか 2. 認知症を患う人々の回想 3. 認知症ケアにおける回想の意義 4. トラウマとなっている思い出への対応 5. 非言語的コミュニケーションの重要性 6. 穏やかな感覚刺激 7. 無理は禁物 実例【9】 8. 記憶の不思議 9. 評価ツール 10. 認知症を患う人とならう アクティビティ 11. パフォーマンスのアクティビティ II . アイデアとヒント 回想アクティビティのメニュー 101種 メニュー1～101 付. INDEX アクティビティの分類と特徴別メニュー一覧 (2018.6)



ISBN978-4-902630-27-5

■著者：1 (Bernie Arigo) 回想コンサルタント、AgeExchange 元理事
2 (うめもとみつこ) 日本福祉大学教授
3 (なかしまあけみ) 山梨県立大学教授

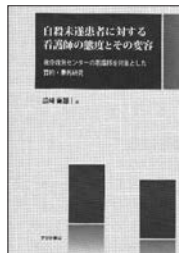
自殺未遂患者に対する 看護師の態度とその変容

救命救急センターの看護師を対象とした
質的・量的研究

瓜崎 貴雄 [著] A5判 144頁 2,700円 (本体価格)

矛盾と葛藤を抱え込む看護師に焦点をあてた研究の
集成。“理想的な態度”の追求へ。

【主要目次】序論 第1章 三次救急医療に従事する看護師の自殺未遂患者に対する態度；構成要素と傾向についての質的研究 第2章 “”；”量的研究 第3章 “態度と看護経験の関連；看護師の自殺未遂患者に対する態度尺度を用いた調査研究 第4章 “態度と精神健康度・共感性の関連；三次救急医療に従事する看護師を対象とした質問紙調査 第5章 三次救急医療に従事する看護師の自殺未遂患者に対する態度変容の過程；修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いた質的帰納的研究 第6章 総合考察 (2017.1)



ISBN978-4-902630-26-8

■著者 (うりざきたかお)
大阪医科大学大学院看護学
研究科講師

関連書 自殺の看護 (p10) 自殺は予防できる (p11)

津波避難学

命が助かる行動の原則と
地域ですすめる防災対策

清水 宣明 [著]

四六判 228頁 1,800円 (本体価格)



ISBN978-4-902630-25-1

津波が迫っている。その時、あなたはどのようにしますか？
「とにかく逃げろ！」はまやかします。

逃げられない災害弱者は絶望するしかないのでしょうか？
否！ 避難学の目的は地震・津波に勝つことではありません。
命を最優先に「負けない」ための最善策を科学的に追求します。
2011.3.11 東日本大震災でのさまざまな事実に学び、誰にでも
実行可能な「正しい避難のしかた」を説く。必読！

【主要目次】序章 東日本から西日本へ；次に備えるために 第1章 津波
を起こす地震のしくみ 第2章 「とにかく逃げろ」では助からない人た
ち 第3章 東日本大震災で実際に起こったこと 第4章 災害中の避難 第5章
みえてきた地震・津波対策の問題点 第6章 津波避難の大原則 第7章 避難の計
画と行動の実際 第8章 避難場所で命を守る 第9章 動きだした地域での災
害弱者対策 終章 主役は地域、そしてあなた自身です (2016.3)

■著者 (しみずのぶあき) 愛知県立大学看護学部教授

身体へのまなざし

ほんとうの看護学のために

阿保 順子 [著]

四六判（上製）169 頁 2,500 円（本体価格）

こころの奥深さ、身体不思議。

看護の神髄にふれる思索。

こころとからだ、あるいは主観と客観の二分法は科学のための便法に過ぎない。人は心身一如たる身体として生きている。臨床は身体的な営みの場。それを捨象した看護学は不毛である。著者があためてきた身体への関心を看護学基礎論として世に問う。

「私自身のほんとうの関心にしがうことが、看護学の可能性をひらくことにつながるという確信だけはある。」（著者）

【目次抜粋】

はじめに 身体という言葉 1 章 身体——からだでもなく、ころでもなく・・・日々の暮らしの中で●科学が説明してくれないこと●デジャ・ヴュ *deja vu* ●「えもいわれぬ」感覚 病気体験のさなかに●コントロールが及ばない体に恐怖する身体●ケアする手は身体の世界をこえる●希望をもたらず言葉 自分とは？ ●じっと手を見る●解離患者さんの自殺にまつわる体験●予兆●「事後」にしかわからないこと●徴候・予兆と予知とのあいだ 2 章 身体底をみる——重度認知症患者の行動観察をとおして・・・原初身体●言葉と身体●「さわる」行動の意味●感動する身体●相互依存的な身体 身体性●自己の成立●自分から離れてしまう身体 選っていく身体●見当識障害の進行●自己接触行動 徘徊の理由●なぜ歩きはじめたのか●未知なる世界の入口に立つ不安と恐怖●還るべき場所 3 章 身体の変容——精神病を患う人々が経験している身体・・・自他を区別する境界線●ほどよい自我●脆弱な自我●ホメオスタシスの崩壊 自己が霧散してしまった身体●患者が語る発病時の身体●自分と周囲環境が逆転する●感覚の異常●時間が「乗っ取られる」

未分化な身体への逆行 統合失調症急性期の看護●保護膜という考え方 4 章看護技術と身体・・・相互浸透する身体●清拭する手の力●能動と受動の反転 技術はどのように発揮されるのか●適用の背後にあるもの 看護手順●非侵襲的に接近し、非侵襲的に触れる●気づかい 実習の意味 技術の修得●反復 5 章関係としての身体——身体性の重層性、全体性、現場性 身体性の重層性●意識の身体●オノマトペの身体●「領域」としての身体●病気における身体性の異変●「触れる」ということ●時間の拡張 身体形成 ＊社会によって、時代によって変容する身体●「こころ」と「からだ」に分かれた身体●老いの進行と身体 間身体的な現象 身体性の全体性 見えるということの関係性 身体性の現場性 6 章 身体理論と看護学 ●看護理論における身体論の不在●なぜ身体現象に目を向けるのか●人間とは何かという問い●専門看護師にみる実践力●CNS 教育と看護学●臨床で発揮されている看護師の実力

7 章 身体生成、認識、つながり

（インタビュー）三浦雅士

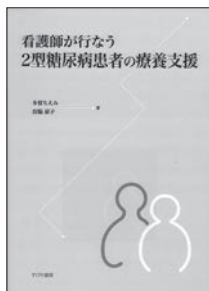
（2015.7）



ISBN978-4-902630-24-4

■著者（あべじゅんこ）
長野県看護大学名誉教授

看護師が行なう 2型糖尿病患者の療養支援



多留ちえみ 宮脇 郁子 [著]

B5判 2色刷 173頁 3,700円 (本体価格)

看護師が行なう療養支援は患者を理解することから始まり、患者が自らの持てる力を最大限発揮できるように関わることである。自己管理行動を継続することは本人の生活にどのような影響があるのか？ 食べることはどのような意味を持っているのか？「患者に尋ね、教えてもらう」方法に徹した研究が重ねられた。

慢性看護の本質に導かれた、看護師にこそできる支援の追求。看護が変わる！

ISBN978-4-902630-23-7

(2015.5)

[主要目次]

序章 患者の声に耳を傾ける 第1章 患者の行動と心理を知る 1 食事療法を続けるということ 2 患者が自ら行なっている工夫や努力 2型糖尿病患者の食事自己管理行動質問紙の作成 3 運動療法(推奨された身体活動)に関する自己管理行動 2型糖尿病患者の身体活動調査票の開発 研究の要約●2型糖尿病患者の食事自己管理行動質問紙の作成●2型糖尿病患者の身体活動調査票の開発 第2章 患者の経験を知る 肯定的な感情と否定的な感情 1 患者自身が語るものの意味 2 患者の語りにもみる自己管理行動に伴う経験 3 助言の受け止め方 4 患者の感情傾向と看護支援 5 承認欲求を満たす 研究の要約●2型糖尿病患者の自己管理行動の実施に伴う経験 第3章 食事療法の負担感に焦点をあてた面接 1 食事療法に伴う患者の負担感 2 負担感の表出 否定的な感情を語るものの効果 3 頑張る力を充填する 研究の要約●2型糖尿病患者の食事療法負担感尺度の開発 第4章 看護研究と実践 1「自己管理行動」に研究の焦点が定まるまで 2 患者に学ぶ 選択肢は患者自身の経験の中にある 3 慢性看護研究の原動力

第5章 研究結果の解釈と活用 1 食事摂取量に関係する要因 2 食事に関する自己管理行動の特徴 3 肥満度(BMI)と運動量(歩数)と食事摂取量との関連 4 自己管理行動を規定する背景要因 5 食事の内容 メタボリックシンドロームとの関連 6 食事療法と運動療法の併用効果 7 塩分制限の効果 第6章 患者教育 慢性看護学における基本概念 1 食事療法の困難性 2 disease and illness 3 療養支援における患者教育の本質 4 適応 5 適応を妨けているもの 6 質問のスキル 7 患者の考えを聞く 行動には必ず意味がある 8 ステigma stigma 9 リフレクション 看護師自身の成長を可能にするもの 第7章 現代の食生活と生活習慣病 同時代を生きる人間としての療養支援 1 社会構造の変化と私たちの生活 2 遺伝的要因と環境的要因 3 食物と食事を取り巻く状況 4 食品に対する不信と不安 健康志向の高まりの中で 5 食を大切に 2型糖尿病の療養支援者として 《付録》 療養支援に活かす問用紙 自己管理行動質問紙 食事療法負担感質問紙 修正版簡易食事摂取調査票

■著者(たるちえみ) 神戸大学大学院保健学研究科保健学研究員 (みやわきいくこ) 神戸大学大学院教授



ISBN978-4-902630-20-6

A5判 344頁 4,500円（本体価格）

ケアリング プラクシス

マーガレット ニューマン
拡張する意識としての健康の理論と
看護実践・研究・教育の革新

編著 キャロル ピカード
ドロシー ジョーンズ
監訳 遠藤恵美子

理論的であることは、すなわち実践的である。理論がケアリングあふれる実践を導き、探求への問いとなり、変革のプロセスを導く、理論・研究・実践の統一体を praxis と呼ぶ。ニューマン理論に基づくプラクシスの多彩な実例集。実践の“典型”を随所に織り込む。ニューマンとJ. ワトソン、C. ロイがケアリングと理論の将来について語り合った記録を収載。

■監訳者（えんどう えみこ）：ニューマン理論・研究・実践研究会理事長、武蔵野大学名誉教授

■訳者：遠藤恵美子、小笠原利枝、千崎美登子、高木真理、坪井 香、永井庸央、松原康美

（2013.4）

臨床看護面接 治療力の共鳴をめざして



ISBN978-4-902630-02-2
（2005.3）現在2刷

細川 順子 著 A5判 240頁 2,500円（本体価格）

たしかな看護の記憶・・・患者と看護師のこころ模様と葛藤をみつめて、ここまで真率に語られたことがあったらどうか。人は対話をおとして自ら変わることができる。「患者は彼らを知ろうとする人の在り方によって、さまざまな姿を現わす。読者も、自身が出会った患者と自身を（本書のエピソードに）重ね、患者や私と対話し、あれやこれやを考えてほしい」（著者）。

看護師であることへの勇気を呼び覚ます、励ましの書。

■著者（ほそかわじゅんこ）元神戸大学教授

【主要目次】 序章 患者からもらった宿題 1章 病むこと、患者になること、人として生きること 2章 家族の受難と対処 3章 援助が成り立つとき 4章 自己理解と洞察 5章 支持的・受容的・人間理解的アプローチ 終章 治療力の共鳴をめざして

看護をとらえてみる

片麻痺を伴う脳血管障害患者の身体経験

山内 典子 著 A5 判 208 頁 3,000 円 (本体価格)

突然発症して救命され意識回復した脳血管障害患者は、以前とはまったく異なって感じられる自らの身体と向き合うことになる。回復に向かう急性期、彼らが生きる世界はどのようなもののだろうか。著者は臨床の場で看護する只中に研究の視座を置き、患者自身が語る経験に耳を傾け記録した。その意味がハイデガーやメルロ＝ポンティの哲学を媒介に考察され、看護に直結する知として結実した。巻末に、田中美恵子の解説「解釈学的現象学がひらく臨床看護研究の地平」を付す。



ISBN978-4-902630-10-7
(2007.12)

- 著者 (やまうちのりこ)
東京女子医科大学病院・
精神看護専門看護師
- 解説 (たなかみえこ)
東京女子医科大学教授

[主要目次] I 患者の経験を知る II 片麻痺を伴う脳血管障害の回復過程における患者それぞれの経験；看護師としての参加観察記録 III 片麻痺を伴う脳血管障害の身体経験とその意味 IV 看護実践の道しるべ 跋

あるケアのかたち 病むことの怒りと悲しみ



鈴木 正子 著

A5 判 168 頁 2,400 円 (本体価格)

医療になぜケアがなくてはならないものなのか。ケア的なものを擁護するために放たれた熱き一冊！
看護の核心＝ケアそれ自体の意味と価値をつかみとるために、ひたすらに実践された“ケア面接”という方法による研究の記録。人は、悲しみを悲しむことによって癒される。巻末に平山正実（精神医学、死生学）との対談を付す。
第4回日本医学哲学・倫理学会賞受賞

ISBN978-4-902630-06-0
(2006.11)

- 著者 (すずきまさこ)：元広島大学教授

[主要目次]

1章 序説―看護ケアの存在論 2章 ケアをつむぐ―看護実践研究としてのケア面接 3章 病むことの怒りと悲しみ 4章 生きていく地平を開くケア 5章 [対談] 医療の実践とケアの思想

統合失調症急性期 看護マニュアル 改訂版

阿保順子 佐久間えりか 編

B5判 2色 176頁 2,400円（本体価格）

統合失調症急性期看護の「なぜ」「何のために」「どうする」を、阿保の“精神構造”理論によって明快に解説。目からウロコ（読者評より）、わかれば、できる！ 画期的マニュアルの誕生。「状態別ケアプラン」では精神構造の解釈から看護方針が導かれ、具体策が系統的に示される。本書をおいて精神科看護を語ることはできない。

[主要目次] 第1部 統合失調症急性期看護総論 第2部 ケアの方法；統合失調症急性期看護マニュアル
◆回復過程の各段階における看護の原則と具体策 ◆状態別ケアプラン
3部 事例集 付録 用語集 精神科看護に関連する法律

■編者（あぼじゅんこ）長野県看護大学名誉教授、（さくまえりか）元北海道医療大学准教授
■著者（急性期精神科看護研究会）阿保順子、田崎博一、佐久間えりか、笹木弘美、内田直子



ISBN978-4-902630-13-8
(2009.3) 現在3刷

暴力と攻撃への対処 精神科看護の経験と実践知

岡田 実 著

A5判 200頁 2,600円（本体価格）

患者の暴力という非常事態への対処を精神科救急・急性期の看護介入技術として解明。護身術やリスクマネジメント以前に看護師として自問自答しつつ、先輩看護師の臨床経験に学び、実践を克明に描くこと…そこから新たな実践知の創出に挑んだ著者渾身の書。



ISBN978-4-902630-11-4
(2008.6)

[主要目次] 序章 非常ベルが鳴るとき I 問題の所在と研究の視座：1章 暴力の正視 2章 精神科救急・急性期看護をめぐる問題 3章 経験と実践知の収集；研究の動機、目的、方法 II 暴力と攻撃行動に対する看護介入技術：4章 基本的ケアの実践 5章 精神科救急・急性期看護の原則と暴力への対処 6章 攻撃場面の收拾 III 臨床経験の記述；自己エスノグラフィという方法：7章 幻覚・妄想状態を呈する患者への対処 8章 突発的な攻撃に遭遇して 終章 臨床経験の共有から“範例”へ

■著者（おかだみのる）：長野県看護大学大学院教授

精神科における 病的多飲水・水中毒の とらえ方と看護

木村 英司 著

A5判 128頁 1,900円（本体価格）



ISBN978-4-902630-01-5

(2004.5) 現在3刷

20年の経験（訪問看護を含む）と思索が詰まった画期的労作。臨床看護研究の見事な成果！ 病的多飲水・水中毒状態の患者の中では何が起きているのだろうか？ 多飲水行動によって患者が必死に訴えているものは何か？ 臨床実践と研究の試行錯誤を経て、著者はようやく納得できるケアの論理と患者理解に到達した。看護師がめざすべきケアの地平を切り開いていくプロセスの記録。

〔主要目次〕

1章病的多飲水・水中毒に対する取り組みの軌跡 2章病的多飲水・水中毒対策と看護 3章病態へのアプローチ 4章長期的管理—評価と予防 5章在宅ケア 6章病的多飲水・水中毒患者の心理を理解する試み

■著者（きむらえいじ）山形さくら町病院看護師長

高齢者のせん妄

安心を届けるケアと介護の心得

守本とも子 編

A5判 2色刷 141頁 2,000円（本体価格）

高齢者はせん妄を起こしやすい。しかし、速やかに経過させることができる。そのための心得を平易に説明。知っていればあわてない＝介護者も安心、安全のケアのために。



ISBN978-4-902630-21-3

〔主要目次〕 1章 せん妄とは何か せん妄とはどのような状態？ せん妄の発症因子 2章 せん妄に気づく どのような症状がせん妄の始まり？ せん妄を予測してみましょう せん妄かどうかを判断するにはせん妄を起こすきっかけ 3章 せん妄を起こしやすい状況—こわれやすいところへの思いやり 高齢者はなぜせん妄を起こしやすいのか 手術後せん妄 病気の苦痛 アルコールや薬物電解質の異常 夜間せん妄 環境の急変 4章 せん妄が起きてしまったら 症状への適切な対応 安全の確保 人格の尊重 環境

の整え 薬物治療について 5章 健康維持と生活行動支援 観察の重要性 援助の基本姿勢 身体的健康の維持 「できる力」を発揮させる援助 低活動型せん妄を伴う人への援助 意思決定の援助 6章 せん妄ケアの実際 事例●病室移動によるせん妄●下痢による脱水（電解質バランスの異常）が直接原因と考えられたせん妄●複数の要因が重なり合って発症したせん妄●疾患（脳梗塞）によるせん妄●パーキンソン病に伴う認知障害がある人に現れた異常行動●認知症と誤認されやすいせん妄●強い痛みによるせん妄●終末期せん妄

■編者（もりもとともこ）：奈良学園大学教授 ■執筆者：野中浩幸、酒井千知、奥百合子、川口ちづる、大谷須美子、川田美和、鍋内希美子、大西恵、横嶋清美、山田ゆきこ

（2014.10）

コラージュを聴く 対人援助としてのコラージュ療法

山本映子 著

A5判 160頁 2,400円 (本体価格)

コラージュ療法に魅かれ、導かれ、活用を広げてきた著者ならではのガイドブック。著者のコラージュの原点は看護教員として入った精神科病棟でのレクリエーション療法でのSさんとの出会いであった。以来、同行(どうぎょう)する援助者として、多くのケースとかかわる。多彩な作品例を紹介しつつ「コラージュの声を聴く」方法を説く。「私をとらえて離さないコラージュの魅力を伝えたい。感動を分かち合いたい。」(著者)



ISBN978-4-902630-16-9

■著者(やまもと えいこ): 元県立広島大学教授。広島コラージュ療法研究会主宰。日本心理学会認定心理士、日本カウンセリング学会認定カウンセラー・認定スーパーバイザー。(2011.7)

認知症高齢者のリスクマネジメント



湯浅美千代 編

B5判 172頁 2,800円 (本体価格)

研究者と介護保険施設スタッフの協働によるリスクマネジメント活動推進の成果を紹介する。リスクマネジメントの真髄はよいケアの実践追求にあり！
職員の意識変革と主体性発揮による取り組みからは、介護のプロフェッショナルリズムの胎動が聞こえる。

ISBN978-4-902630-09-1

[目次から] I 施設に暮らす認知症高齢者のためのリスクマネジメント…A リスクマネジメント総論 B リスクマネジメントとケア C リスクマネジメントの推進 II リスクマネジメント活動推進の実際…A 異食のあるAさんへケア検討会を起点とした取り組み B 事故防止委員会～転倒事故を繰り返す高齢者～ C 「予防」から「よいケア」への意識改革 D スタッフとの茶飲みミーティング III 認知症看護・介護を担うスタッフの育成 IV 介護保険施設における認知症高齢者のリスクとリスクマネジメントの実際

■編著者(ゆあさみちよ): 順天堂大学大学院教授 ■著者: 酒井 郁子、野口美和子、小野 幸子、佐藤弘美、天津栄子、大塚真理子、大和田豊子、諏訪さゆり、根本敬子 (2007.12)

自殺の看護

田中美恵子 編

A5判 232頁 2,800円 (本体価格)



ISBN978-4-902630-14-5

看護師は自殺と遭遇することが少なくない。未遂者や危険（うつ病、希死念慮、自傷行為）を抱えた患者とも直接かかわる。話題にすることのタブーを破り、総合的に立ち向かうべき課題として“自殺看護学”を標榜する。後半は事例集とし、当事者本人の経験を寄せていただいた。

【主要目次】 I 自殺看護学総論 1章自殺の現状と予防への取り組み 2章うつ病の看護と治療的介入 3章自殺看護の臨床（アセスメント 看護介入 家族および周囲の人々へのケア 看護研究） 4章リスクマネジメント：病院組織としての取り組み 5章自殺に遭遇した看護師のケア（トラウマ体験 デブリーフィング 精神看護専門看護師の活用） II 自殺の看護事例集 ●救命救急センターで ●精神科病棟で ●一般病棟で ●子どもの自殺 ●看護師へのケアと看護管理支援

■編者（たなかみえこ）：東京女子医科大学教授 ■執筆者：小山 達也、笹 宗一、山内 典子、花田良重、岡田佳詠、八木こずえ、瓜崎貴雄、桑名行雄、田嶋佐知子、釜 英介、寺岡征太郎、木村里美、寺岡貴子、畠山卓也、北野 進、阿保真由美、三ヶ木聡子、中谷春香、土谷朋子、福田浩美、斎藤みよ子、近澤範子 (2010.7)

関連書 ㊦ 自殺未遂患者に対する看護師の態度とその変容 (p2) 自殺は予防できる (p11)

グループ回想法実践マニュアル

梅本 充子 著

B5判 128頁 2,000円 (本体価格)



ISBN978-4-902630-18-3

(2011.8)

高齢者介護予防、サクセスフルエイジング、世代間交流、健康な地域づくりに貢献するグループで行なう回想法のてびき。地域で行なうアクティビティとしての回想法の多彩なあり方を紹介。実践事例集は読むだけでも楽しい。「専門家による認知症を対象にした“療法”の解説ではなく、もっと広くさまざまな人が楽しく有意義に実践するためのマニュアル本が求められていると考えました」(著者)

■著者（うめもとみつこ）：日本福祉大学教授

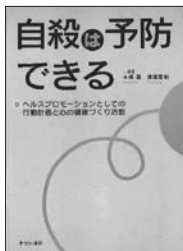
関連書 ㊦ 回想アクティビティハンドブック (p1)

自殺は予防できる

ヘルスプロモーションとしての
行動計画と心の健康づくり活動

本橋 豊 渡邊直樹 編著

B5判 212頁 3,300円(本体価格)



ISBN978-4-902630-03-9

自殺予防にはヘルスプロモーションアプローチがふさわしい。豊富な活動歴をもつ編者らの熱い思いの結実。一次予防活動を推進するために編まれた待望の書。活動事例を多数紹介。自治体の事業展開を図るための「担当者のための行動計画策定ガイド」付。

[主要目次] 序章 原点の確認；ある精神科医の軌跡 1章 なぜ、自殺予防を公衆衛生の立場で行なうのか 2章 人はなぜ死のうとするのか 3章 自殺予防の戦略；世界と日本の現状 4章 自殺予防活動の実際 5章 保健師のための活動指針 6章 市町村における自殺予防対策のすすめ方●担当者のための行動計画策定ガイド 付録：心の健康づくりに向けた地域診断のための簡易調査票 7章 評価 (2005.10)

■編著者（もとはしゆたか）国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 自殺総合対策推進センター センター長、（わたなべなほ）メンタルホスピタルかまくら山名誉院長

地域保健・福祉のスキルアップ

研修の企画・運営・評価のてびき

岩永 俊博 編著

A5判 136頁 1,900円(本体価格)



ISBN978-4-902630-05-3
(2006.10)

地域保健法では研修は保健所機能の柱とされる。地域保健・福祉の推進には専門職の技術研修や住民リーダー、業界リーダーを育てる研修が不可欠。グループワークや参加型研修のノウハウを伝える、研修を担当する職員のための基本的なテキスト。要所で住民向けの健康教育にもふれているので、地域で教育活動に携わる保健師のスキルアップにも好適。

[主要目次] 1章 受講者への気くばり 1. 会場の工夫 2. 参加者紹介 2章 研修企画の基礎 1. 学習とは 2. 行動を変える 3章 研修の実践；導入、展開、まとめ 1. 導入の段階 2. 展開の段階 3. まとめ 4章 研修の企画において重要なこと 1. 研修ニーズの把握 2. 研修目的の設定 3. 研修プログラムの作成のステップ 5章 研修の評価 6章 研修企画の実際

■編著者（いわながとしひろ）健康なまちづくり支援ネットワーク ■共著者：浅野良一、佐藤卓、渡辺志保

がん看護から

がん看護の魅力—私たちが
看護師でありつづける理由

荒川 唱子 編 がん看護研究会 著
A5判 151頁 1,800円 (本体価格)



ISBN9784-90263022-0
(2014.12)

福島で研究会を続ける看護師たちの声。草の根の看護論！

【主要目次】 カッコ内は執筆者

I それぞれのがん看護 私の大切な教師たち(安斎紀) 基本的なケアこそ(橋本淳子) 私の原点(舟山明美) 少しでも心身が楽になりますように(土谷恭子) がん看護への道(熊田市子) 緩和ケアへの関心(崎山栄子) 考えつづけていくからこそ得るもの(星野聡子) がん看護に魅せられて(荒川唱子) がん看護の質的向上を目指して(洪木登美代) 残された時間を大事に過ごし「最後の仕事」を果たした看護師Yさんのこと(富永昭子) 支え合いと感謝の気持ち(清水千世) II 一歩先へ—看護にできることの追求 看護の多様性と創造性(小石澤ゆかり) ホスピスナースになれたシアワセ(戸室真理子) 同じ看護の一日はない(氏家由紀子) ターミナルケアの魅力(久保木優佳) 「自分で自分のことを決める人が増えるから、手伝ってあげてね」(藤本順子) 思いを理解しよう(後藤郁子) ホスピスナースとして、緩和ケアチーム専従看護師として(千葉久美子) がん看護の道を歩む原動力(幕田望) 臨床が好きだからそこにいる(保坂ルミ) III 明日に向かって (座談会)

■編者 (あらかわしょうこ): 福島県立医科大学名誉教授

考えるがん看護

水寄 知子 著

四六判(縦組) 206頁 2,000円 (本体価格)

「すること」を追い求めた看護師の「できること」がないことによる挫折。「そこにいる」ことをしなかった自分への気づきからはじまった看護とは何かの探求。がん治療に通う人々の語りを聴き、物語に書き移し、その意味を考える。

「知らせる」のではない、患者ががんを「知る」のだ。患者とともに哲学する… そうして寄り添うこと自体が看護だった。マニュアルなどない「考える看護」の宣言。

■著者 (みずさきともこ) 元神奈川県立保健福祉大学准教授



ISBN978-4-902630-12-1
(2008.12)

【主要目次】

- 1章 ゆらぐ看護観
- 2章 がん患者の語り
- 3章 語りの解釈と意味の理解
- 4章 考える看護—患者とともに意味を問いつづける

外来がん看護 エンパワメント支援の理論と実際



ISBN978-4-902630-19-0
(2013.1)

片岡 純 編著

B5 判 173 頁 2,600 円 (本体価格)

入院期間短縮に伴う外来治療への移行。がんと共に生きる時代。外来での看護の重要性がますます高まる今日、がんサバイバーのエンパワメントを支える外来看護の実際と、その意義を明らかにした。スペシャリストナースによる外来での看護事例集に、編著者による看護師の実践を支えるための理論的な探求「エンパワメント支援の看護論」を加えた。外来に勤務する看護師の指針となる一冊。

■編著者 (かたおか じゅん) 愛知県立大学看護学部教授

■事例編集筆: 新貝夫弥子、藤澤浩美、向井末年子、西尾里美、久保知、瀬古志桜、青山寿昭、榊原由美子、阪元由美

[主要目次] 1 章 外来がん看護の展望 1 病院の顔としての外来看護 2 外来看護実践システムの整備 3 者の主体性を育む看護援助プログラム 2 章 外来におけるがんサバイバー支援 1 がんサバイバーシップ 2 がんサバイバーが抱える課題 3 がんサバイバーのためのサポート 3 章 こころのケア 認知行動療法的な介入 1 がんに対するこころの反応 2 外来通院患者にみられるこころの問題 3 認知行動療法を看護に活かす 4 章 緩和ケア 外来における症状コントロール支援 1 緩和ケアの現在 2 外来における緩和ケア 5 章 外来がん看護事例集 ①化学療法室で ②放射線治療科で ③乳腺科外来で ④栄養・嚥下外来で ⑤ストーマ外来で ⑥リンパ浮腫外来で 6 章 エンパワメント支援の看護論 1 エンパワメントとは 2 道程の伴行者 3 エンパワメント支援の外来がん看護 -1 がん罹患の心理的衝撃や、がんと共に生きることに伴う苦悩に対する援助 -2 意思決定を支援する -3 治療・副作用・後遺症に伴う諸問題への対処能力を高める -4 地域でその人らしい生活を営むことへの支援 -5 再発や病状悪化の不安に対する援助 -6 がん罹患を自己成長の契機とし《自分なら乗り越えられる》と思えることへの支援 4 状況の意味から実存の意味へ ●結論

がん看護へのことづて

武田 悦子 著 [解説] 山元由美子

B6 判 112 頁 1,200 円 (本体価格)

がんとともに生きるなかで紡がれた、患者と看護をつなぐ言葉。心地よい援助(安楽)とは…基本的看護技術の素晴らしさ…日常生活の自律…外来看護の重要性…看護は患者その人に丸ごと立ち向かう仕事。「今ある生を輝かせて」逝った著者の遺稿をもとに編まれた掌編。



ISBN978-4-902630-17-6
(2011.7)

■著者 (たけだ えつこ) 元山形厚生看護学校教員。山形市内で「きっちん おあしす」を営む。2011 年 3 月 30 日逝去。

患者体験に学ぶ 乳がんの看護

手術・放射線・化学療法を受けるあなたと看護師のあなたに



ISBN978-4-902630-08-4

竹内登美子 著 (手記提供●嶋田君枝)

B5判 2色刷 128頁 2,100円 (本体価格)

乳がん体験者(サバイバー)の手記を教材にして、乳がん看護の基本を説く。やさしく心にしみる名講義！
患者はどのような体験を強いられているのか…それを受けとめることがケアの出発点。重要ポイントは「看護師のあなたに」で詳述。医学知識も平易に解説。患者となる(かもしれない)一般の読者にもすすめたい。

■著者(たけうちとみこ) 富山県立大学教授

[主要目次] 1章 乳がんと診断されるまで 1. 乳がんの検診 2. 乳がんを疑う 3. 乳がんのハイリスク因子 2章 外来で術前の化学療法を受ける 1. “乳がん告知”直後の患者心理…2. 乳がんの進行度(病期 Stage) 3. 術前化学療法と副作用 4. がんの恐怖 3章 乳房切除術を受ける 1. 術前の看護 2. 術式と手術室における看護 3. 術後の看護 4章 退院後の生活と放射線療法 1. 術後の放射線療法 2. 退院後の生活 3. その後のフォロー 4. 再発と転移 5. 患者会とサポートネットワーク 手記より: ①～⑩ (2007.9)

看護管理としての 看護情報支援システム の構築と運用

五島光子 著

B5判 2色刷 164頁 3,300円 (本体価格)



ISBN978-4-902630-04-6

(2005.11) ●残部少

IT化推進の波を「看護をよくなる」ための課題として受けとめ、自前のシステムづくりを達成した看護管理としての実践記録。電子カルテ / 看護情報支援システムの構築の手順を紹介する。陥りやすい問題に対して「どうすればよいか」経験者ならではの助言が光る。

[主要目次] 1章 病院をとりまく環境の変化 2章 情報システムの変遷とITに求めるもの 3章 看護部門の病院経営との関わり 4章 看護情報支援システムの構築手順 5章 業務フローの作成 6章 システム構築のための組織化 7章 仕様書の作成 8章 契約 9章 システムの開発 10章 システムの運用

■著者(ごしまみつこ): 前岐阜大学医学部附属病院看護部長

本心と抵抗

自発性の精神病理

笠原 敏雄 著

四六判(縦組・上製) 304頁

2,800円(本体価格)

従来説(ストレス、心的外傷、精神分析、脳の病変等)では解けない、人間に特有な心因反応の仕組みを追究。人間は動物とは比較にならないほど高度な能力、徳性、自発性と意志を持っている。著者独自の「幸福否定」理論が、そんな人間に特有の精神病理に光をあてる。

[主要目次] 1章「青木まり子現象」の意味—書店でトイレに行きたくなる理由 2章片づけができない、落ち着かない 3章締切まぎわの問題—締切近くまで課題に取り組めない理由 4章心理的原因を探る 1. 単発的な発症 5章心理的原因を探る 2. くり返される症状 6章マリッジ・ブルーとマタニティー・ブルー 7章子どもの虐待の裏側 1. 子どもへの愛情の否定 8章子どもの虐待の裏側 2. 母親に対する愛情の否定

■著者(かさはらとしお)心理療法師。早稲田大学第一文学部心理学科卒業、複数の精神科病院に勤務。1996年〜東京都品川区に「心の研究室」開設



ISBN978-4-902630-15-2

(2010.7)

歯周病が治る歯ブラシ法

大人のための歯ブラシ教室

大内 廣 著

A5判 128頁 1,400円(本体価格)

歯ブラシ一本の使い方も奥が深い…「歯周病患者のプロ」が、自らの身をもって研究した成果を伝授する。虫歯予防の「歯磨き」ではなく、歯周病に有効な方法を徹底追求、それを「歯ブラシ法」と名づける。著者は元陸上自衛官、航空機整備の専門家。歯周病予防も航空機の整備も基本は同じく清掃にあり、との考えの下に書き下ろされた実技指南書。新聞(東京、中日、夕刊フジ)でも話題に。読者から感謝の声多数。



ISBN978-4-902630-07-7

(2007.6) 現在2刷

[主要目次]

1章 歯ブラシの目的 2章 基本歯ブラシ 3章 歯科医の力を借りる 4章 応用歯ブラシ 5章 ゴムチップとうがい 6章 道具にこだわる 7章 歯と歯ブラシの雑学

☆すぴか書房のいわれ

すぴかは春から夏、南の空に昇るおとめ座の一等星。その響きは耳に美しく、純潔な精神性と、ささやかな希望への意志を喚起します。日本での名は真珠星とも。白く清楚に輝く星……出版物が高貴なる魂の結晶であることを願って!!

Spica はラテン語で麦の穂。ギリシア神話で天のおとめ座になった正義の女神アストライアは、手に麦の穂を持つ姿に描かれます。スピカはそこに位置します。麦は冬の間に育ち、もっとも早く私たちを養う豊かな実りをもたらします。踏まれることで強くなり、空に向かってまっすぐな茎を伸ばす麦に、出版の理念を託しました。石原吉郎詩集に「麦」と題する詩があります。その一節を引用します。

穀物であるまえに 勇気であったから
上昇であるまえに 決意であったから
そうしてなによりも
収穫であるまえに 祈りであったから

勇気、決意、祈りを創業の原点とします。すぴか書房は出版物という麦穂を支える一本の「しずかな茎」でありたいと思います。

書籍のご注文について

- ★全国の書店でお買い求めください。専門書店以外では棚にない場合が多いと思いますが、お取り寄せは必ず可能ですのでご注文ください。
- ★直接小社宛ご注文も承ります。郵便、FAX、Eメール等でお申し付けください。代金後払、振替用紙（払込料金小社負担）同封にて直送します（送料：200 円、2 冊以上同時注文は無料）。

すぴか書房

〒351-0114 和光市本町 2-6 レインボープラザ 602
TEL 048-464-8364 FAX 048-464-8336
メール chumon@spica-op.jp
郵便振替 00180-6-500068

インターネットのホームページもご覧ください。「ご注文」のページもあります。<http://www.spica-op.jp>